

各会議等の実施状況報告について	担当課	スポーツ・生涯学習課
1 会議名称 令和7年度第2回湖西市スポーツ推進審議会 2 開催日時 令和7年10月3日（金） 10時00分～11時15分 3 開催場所 市民活動センター2階「大会議室」 4 出席者 委員／9名（会長：飯田 康仁、副会長：佐々木 千代子 事務局／4名 ※傍聴人なし 5 審議事項 （事務局）湖西市スポーツ推進計画の更新について 1 湖西市運動・スポーツ活動に関する意識調査（以下、アンケート）の結果について説明 5月下旬から7月下旬にかけて市内の小中高校生と18歳以上の市民を対象に実施したアンケートの結果について、第3次湖西市スポーツ推進計画に関連する内容を抜粋して説明 2 第3次湖西市スポーツ推進計画案について説明 第2次湖西市スポーツ推進計画をベースとして、国や県の計画を参酌した第3次湖西市スポーツ推進計画案の内容を説明 委員からの意見 （委員） 週1回以上スポーツをする市民の割合を60%に上げるための新しい取り組みはあるか。 （事務局） ひと昔前でいうとスポーツとして捉えられていなかったものも現在ではスポーツとして捉えられているものもある。eスポーツやダンスなど、スポーツの多様化に対応する体験の場を広げることも今後検討していきたい。 （委員） 公共施設予約システムの予約開始時期がアメニティプラザとその他施設によって1か月異なるが、統一することはできないか。 （事務局） 同じ市の施設で統一できていないところ、ご指摘いただいた予約開始時期や今後取り組んでいく料金の割引体系など、整理していく。 （委員） 公園の予約開始時期も他施設とずれがある。 （事務局） 市全体の話となってくるため、他部署へも共有させていただく。 （委員） 公共予約システムの利便性が高い。他市の予約システムみたいに愛称があってもいいと思う。予約システムを推進していくことはよいと思う。 （委員） 第3章1－(3)スポーツ少年団やジュニアスポーツクラブは「競技力の向上」という目的も含まれると思うため、そういった文言も追加してもよいのでは。 （事務局） どのような表現でどこに追加するかを検討し、書面決議をとらせていただく。 (次頁に続く)		

(委員) 学校側の立場で施設整備不足のところかというと、新居小学校体育館の雨漏りや雨漏りによる床の劣化、電球切れなど、そういった現状から不満をもっている方もいるのではと思う。学校の予算だけでは厳しいところもあるため、社会体育施設としても使用しているという意味では、学校教育関係やスポーツ関係の予算で修繕費や維持管理費など財政的な支援をいただけたらありがたい。

住民としての立場で感じることで、運動やスポーツをするときにチームに入ったりグループで活動したりすることはそれはそれで楽しいが、時間を合わせたり、縛られたりする。時間に左右されない中で自分で健康づくりをするにはウォーキングが良くて、アンケートで上位にきているのではないかなと思う。街でウォーキングをしてても道が暗く、安全的に不安がある。コースの案内を設置したり、街灯を設置し明るく安心して歩けるようにしたりするのも一つアイデアとしてある。コース整備とその環境整備については、街づくりという市全体の話になってくるかなと思うので、一つの意見として今後検討していただけるとありがたい。

(事務局) 利用者からの要望や気づきなど利用後の点検簿で聞き取りをし対応しているが、今後も迅速に対応していく。ウォーキングコースについて、湖西運動公園や新居体育館の周辺も公園として整備されているところではあるが、実際に夜間の状況についてしっかりと確認できていなかった。関連部署と連携し情報共有を行っていく。

(委員) 体験してみたいニュースポーツの種目にモルックやデカスポの関心度が高かったのも、活動していくための一つの目標にもなった。

体を動かすことは必要不可欠であるため、体を動かすことの大切さを伝える場の創出に努めていきたいと思う。

夏場にも活動ができるように体育施設へのエアコン設置について取り組んでいただけるとありがたい。

(事務局) 体育施設へのエアコン設置について、熱中症対策、小中学校の体育館は避難所にもなるため、予算の関係などもあるが、優先順位をつけて段階的に取り組んでいきたいと思っている。

(委員) 以前は新居小学校の体育館でラジオ体操講習会をやっていたが、今はなくなってしまった。小学校ではラジオ体操を行う機会はあるのか。

(委員) 現在学校の授業では扱わなくなっている。運動会などの準備体操は違う体操を行っている。

(委員) ラジオ体操は簡単にできるし覚えてしまえば誰でもできる動的ストレッチで、いろんな部位を動かすという面では一番適している。基本的な体の動かし方は小さい頃から教えることが重要。

(委員) 幼稚園では親子での運動、遊びの取組みを行っていて、モルックなどのニュースポーツを親子で体験する場をつくっている。

(委員) 老人クラブでの活動のほとんどがスポーツで、スポーツへの関心が高い。高

齢になってくると移動手段が課題ではある。運営面でのサポートがあつてありがたい。

(委 員) 日常的にできることっていうのが健康づくりには大事。年齢を重ねていくと外に出ていきたくなくなり、自分の生活の範囲内で行えるものが一番続けられると思う。運動スポーツ活動を推進していく上で実施の方法をもう少し考えていかなければいけないと思った。

親子のイベントを実施するときにチラシを全校配布しているが、親に伝わっていないくて、全校配布している割に参加者数も少ないと感じる。学校の連絡ツールを活用して発信していただくことは可能なのか。

(委 員) 学校から保護者への配布物は非常に多く、必要な情報が洩れないようにしなければならない。情報過多の中で学校から配信する情報は精査して絞っていく必要があると思っている。

(委 員) 第3章1-(5) スポーツ指導者の技術の向上もそうだが、指導力も関係するため、そういった表現も加えてもいいのではないか。

(事務局) 表現について検討し、書面決議とさせていただく。

(委 員) 試合観戦の機会について、例えば卓球であれば、卓球に携わっている人だけにしか観戦の機会は与えられていないのか。今まで興味がなかった競技でもトップ選手の活躍をみることにより、やってみたいなどと興味をもってくれる人もでてくるのではと思った。

(事務局) 各チームからの提案によって対象は変わってくるが、市民招待という形が一番多い。スポーツ教室となると、例えば対象を学生や部活動に限定し、学校にご協力いただき、授業のコマや部活動などの時間を使って行うことはある。モチベーションの向上や技術の向上ももちろんだが、体を動かすことに興味をもってもらふということも大事にしていきたい。

(会 長) 第3章1-(3)と第3章1-(5)の表現の修正は書面決議、それ以外の部分は承認ということでよろしいか。

(委 員) 意義なし

(会 長) 意義なしとのことで本日の議事は終了とさせていただく。

以上